

(様式第1号)

確 約 書

柔道整復師の施術に係る療養費の受領委任の取扱いを申し出るに当たり、受領委任の取扱規程（平成22年5月24日保発0524第2号通知別添2）を遵守することを確約します。

平成 年 月 日

東 海 北 陸 厚 生 局 長

殿

富 山 県 知 事

柔道整復師氏名

印

住 所 〒 —

(受領委任の取扱いを行う施術所)

施術所名

〒 — TEL. — —

住 所

〔 この確約書は、地方厚生(支)局（地方厚生(支)局が所在しない都府県にあっては地方厚生(支)局都府県事務所）へ提出してください。 〕

(様式第2号)

柔道整復施術療養費の受領委任の取扱いに係る申し出（施術所の申し出）

柔道整復師 (受領委任の 施術管理者)	第1	ふりがな			
		氏名	明・大・昭・平 年 月 日生		
		免許	番号	第	号
施 術 所	ふりがな				
	名称	(電話番号: ())			
	所在地	〒 -			
	ふりがな			〒 -	
	開設者氏名及び住所	氏名	明・大・昭・平 年 月 日生	住所	
届け出前5年間における受領委任の取扱いの中止	有 ・ 無	中止年月日			
		当該地方厚生(支)局長等			
柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準の備考5に基づく施術所の届出			定額料金の徴収を (行う・行わない)		
注1 施術所において勤務する他の柔道整復師について、様式第2号の2で申し出ること。 2 申し出に当たっては、施術所の申し出及び勤務する柔道整復師等の確認できる書類の写し等を添付すること。 3 施術管理者が複数の施術所において受領委任の取扱いを行う場合は、別紙「勤務形態確認票」に各施術所における勤務形態等を記入すること。 4 開設者氏名欄は、開設者と施術管理者が同一人の場合は「同上」と記入することとし、住所欄の記入は必要ないこと。					
(備考) ・ 施術日及び施術時間 { 午前 時 分～ 時 分 (月. 火. 水. 木. 金. 土. 日) } 午後 時 分～ 時 分 (月. 火. 水. 木. 金. 土. 日) } ・ 休 日 { }					

上記のとおり、柔道整復施術療養費の受領委任の取扱いについて申し出します。

平成 年 月 日

東 海 北 陸 厚 生 局 長

殿

柔道整復師氏名

印

富 山 県 知 事

住 所

〒 - TEL. - -

(この届け出は、地方厚生(支)局(地方厚生(支)局が所在しない都府県にあっては地方厚生(支)局都府県事務所)へ提出してください。)

(様式第2号の2)

柔道整復施術療養費の受領委任の取扱いに係る申し出 (同意書)

施術所において勤務する他の柔道整復師として、受領委任の取扱規程（平成22年5月24日保発0524第2号通知の別添2）の第3章に定める事項を遵守し、第2章11及び14並びに第8章の適用を受けることについて同意します。

施術所に勤務する他の柔道整復師	第2	ふりがな					
		氏名	印 明・大・昭・平 年 月 日生				
		免許番号	第	号	(取得年月日) 大・昭・平 年 月 日		
		申し出前5年間における受領委任の取扱い中止	有・無	中止年月日			
				当該地方厚生(支)局長等			
	勤務時間	午前	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)
		午後	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)
	第3	ふりがな					
		氏名	印 明・大・昭・平 年 月 日生				
		免許番号	第	号	(取得年月日) 大・昭・平 年 月 日		
申し出前5年間における受領委任の取扱い中止		有・無	中止年月日				
			当該地方厚生(支)局長等				
勤務時間	午前	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)	
	午後	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)	
第4	ふりがな						
	氏名	印 明・大・昭・平 年 月 日生					
	免許番号	第	号	(取得年月日) 大・昭・平 年 月 日			
	申し出前5年間における受領委任の取扱い中止	有・無	中止年月日				
			当該地方厚生(支)局長等				
勤務時間	午前	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)	
	午後	時	分	～	時	分 (月・火・水・木・金・土・日)	

(注) 施術所に勤務する他の柔道整復師は、署名押印をすること。

(この申し出は、地方厚生(支)局(地方厚生(支)局が所在しない都府県にあっては地方厚生(支)局都府県事務所)へ提出してください。)

(様式第4号)

柔道整復施術療養費の受領委任の取扱いに係る申出事項の変更等

柔道整復師 (受領委任の 施術管理者)	登録記号番号			
	氏名			
	施術所名	(電話番号： ())		
	開設者氏名			
区分	1	柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準の備考5に基づく施術所の届出	定額料金の徴収を (行う・中止)	
	2	変更内容	(変更年月日： 平成 年 月 日)	
	その他	理由等		

上記のとおり申出事項の変更を申し出します。
平成 年 月 日

東海北陸厚生局長

殿

富山県知事

柔道整復師名

印

住所

〒 - TEL. - -

(この届け出は、地方厚生(支)局(地方厚生(支)局が所在しない都府県にあっては地方厚生(支)局都府県事務所)へ提出してください。)

(注) 当該柔道整復師(受領委任の施術管理者)が死亡した場合は、事実が確認できる書類として住民票等の書類を添付し、届出人の氏名及び住所並びに当該柔道整復師との関係を記入すること。

また、施術所において勤務する他の柔道整復師を追加する場合は、様式第2号の2等を添付すること。

(会員以外用)

施術管理者選任証明

施術所の「施術管理者」として、下記の柔道整復師を選任したことを証明する。

記

施 術 所 名 称	
施 術 所 住 所	
施 術 管 理 者 氏 名	
施 術 管 理 者 住 所	

東 海 北 陸 厚 生 局 長

殿

富 山 県 知 事

平成 年 月 日

〒 — TEL. — —

開設者住所

開設者氏名

印

欠格事由非該当申出書

柔道整復施術療養費の受領委任の取扱いの申し出にあたり、「受領委任の取扱規程」第2章10に掲げる各事項に該当しないことを申出します。

平成 年 月 日

東海北陸厚生局長 殿
富山県知事 殿

施術所名

柔道整復師 氏名

印

住所 〒 -

「受領委任の取扱規程」第2章（抄）

（受領委任の承諾）

10 厚生（支）局長と都道府県知事は、9の申し出を行った柔道整復師について、次の事項に該当する場合を除き、受領委任の取扱いを承諾すること。また、その場合は、様式第3号により、承諾された当該柔道整復師に承諾した旨を通知すること。

- (1) 施術管理者である柔道整復師又は勤務する柔道整復師が受領委任の取扱いの中止を受け、原則として中止後5年を経過しないとき。
- (2) 当該申し出を行った柔道整復師が勤務しようとする施術所の開設者がこれまで開設していた施術所の施術に関し、当該開設していた施術所に勤務していた柔道整復師が受領委任の取扱いの中止を受け、当該中止後、原則として5年を経過しないとき。
- (3) 受領委任の取扱いの中止を受けた施術管理者に代えて施術所の開設者から施術管理者に選任された者であるとき。
- (4) 不正又は不当な請求に係る返還金を納付しないとき。
- (5) 二度以上重ねて受領委任の取扱いを中止されたとき。
- (6) 施術管理者又は開設者が第8章41の指導を重ねて受けたとき。
- (7) 施術管理者又は開設者が健康保険法、同法第65条第3項第3号に規定する政令で定める国民の保健医療に関する法律又は柔道整復師法に違反し罰金刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。
- (8) 施術管理者又は開設者が禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であるとき。
- (9) 施術管理者又は開設者が健康保険法第65条第3項第5号に規定する社会保険各法に基づく滞納処分を受け、かつ、当該処分を受けた日から3ヶ月以上の期間にわたり、当該処分を受けた日以降に納期限の到来した社会保険料のすべてを引き続き滞納している者であるとき。
- (10) 受領委任の取扱いの中止を逃れるために承諾を辞退して、その後しばらくして受領委任の取扱いについて申し出をしてきたとき。
- (11) 指導監査を再三受けているにもかかわらず、指示事項について改善が見られず、再申し出時を迎えたとき。
- (12) その他、受領委任の取扱いを認めることが不相当と認められるとき。

別紙様式 2

確 約 書 (特例対象者)

柔道整復師の施術に係る療養費の受領委任を取扱う施術管理者の届出又は申出を行った日から1年以内に、「柔道整復療養費の受領委任を取扱う施術管理者の要件の特例について」(平成30年1月16日付け保発0116第3号)の別紙11による(6)の実務研修期間証明書の写し及び(7)の研修修了証の写しを提出すること、並びに、(6)の実務研修期間証明書の写し及び(7)の研修修了証の写しを提出しなかった場合には、受領委任の取扱いを中止することに異議ないことを確約します。

平成 年 月 日

東海北陸厚生局長 殿

富 山 県 知 事 殿

柔 道 整 復 師 氏 名 ⑩

住 所 〒 -

(受領委任を取扱う)

施 術 所 名

施 術 所 住 所 〒 -

TEL - -